

お悩み解決Q & A



2026年4月発信

ベースアップの要求について教えて!?



ベースアップ要求を検討する際に、物価上昇分は対応しているのですか？

昨今物価が上がって家計への影響が



育児と仕事を両立中 めぐちゃん



社員・メイト社員・特別社員は、物価上昇率を踏まえた『グループ共通ベースアップ算出式』に基づいて、要求（案）を組み立てているよ。



制度担当 あっきー先生
野球と仕事熱き心の二刀流!

- ・グループ共通ベースアップ算出式は、事前にメンバーズVOICEや労使協議等を経て制度化されています。
- ・物価変動に応じてベースアップ要求（案）を組み立てる仕組みです。

制度 (2026年度要求時点)

『グループ共通ベースアップ算出式』に基づき要求（案）を組み立てます。

算出方法：基準となるベースアップ額 = 基礎額309,000円 × 物価上昇率に応じた係数

※但し下記の通り大きな環境変化が生じた場合には、算出式の取扱いについて別途労使協議の上で対応しています。

- ①消費増税等、国の政策により物価が上昇した場合
- ②想定外の大幅な物価上昇
- ③災害等によりグループの存続に関わる環境変化が生じた場合

2026年度対応

2026年度は②想定外の大幅な物価上昇に該当すると判断し、『グループ共通ベースアップ算出式』に基づいた要求は行わず、物価上昇の状況を踏まえた要求（案）を組み立てました。

算出式を適用していない雇用形態は、ベースアップの構成要素に基づく判断を基本とするものの、特に2026年度は物価上昇への対応と雇用形態間のバランスを踏まえた対応として要求を組み立てています。それぞれの雇用形態における内容は『2026年度春の交渉議案書』にて確認してください。

[『2026年度春の交渉議案書』](#)



2027年度

2027年度から『グループ共通ベースアップ算出式』が変更になります。制度の内容は次号で説明します！

グループ共通のベースアップ算出式があることで、物価に対するベースアップの水準が明確化され、グループ各社の共通認識化に結び付いています。

物価の状況に合わせて、今年もベースアップがあるのは嬉しいです！

2026年度のベースアップを反映した給与支給は、5月給与からだよ！

